

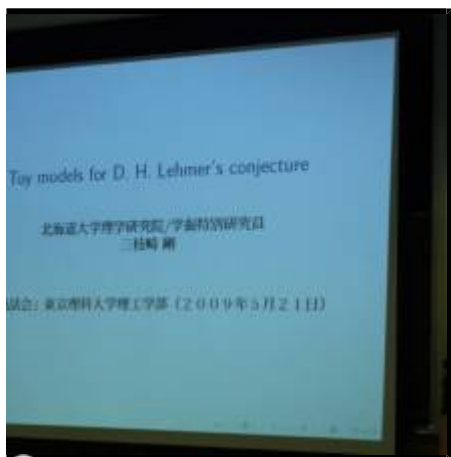
## 第05回

- 講演者: 三枝崎 剛 氏 (北海道大学)
  - 題目 Toy models for D.H. Lehmer's conjecture
  - 日時: 平成21年5月21日(木) 16:30~17:30

$\Delta(z) = q^2 \prod_{m \geq 1} (1 - q^{2m})^{24} = \sum_{m \geq 1} \tau(m) q^{2m}$  をラマヌジャンのデルタ関数とします。Lehmer 予想(1947)とは、「全ての正整数  $m$  で  $\tau(m) \neq 0$  だろう」という予想です。

ここで  $L$  を  $E_8$  格子とします。その時  $(L_{2m})$  ノルムが  $2m$  の点の集合) は、球面  $S^7$ -デザインになっている事が知られています。更に、球面  $S^8$ -デザインになる事と、 $\tau(m) = 0$  は同値である事が、Venkov によって示されました。つまり Lehmer 予想は球面デザインの問題に言い換えられます。

本講演では  $\mathbb{Z}^2$  格子を取り上げて Lehmer 型の問題を考えます。そして、この場合には Lehmer 型の問題が証明できる、というお話をしたいと思います。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

23 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2009/005>

Last update: **2017/11/17 11:46**

